

お姉ちゃんと デザートタイム



一品目

「私を食べる」

お姉ちゃんは
私にそう言った



お姉ちゃん
：この恰好

えーダメ？
すっごく可愛いのに
ネコ沙織♡

ダメつて
ゆーか：

変態に
過ぎるよ

一体何
されるの？



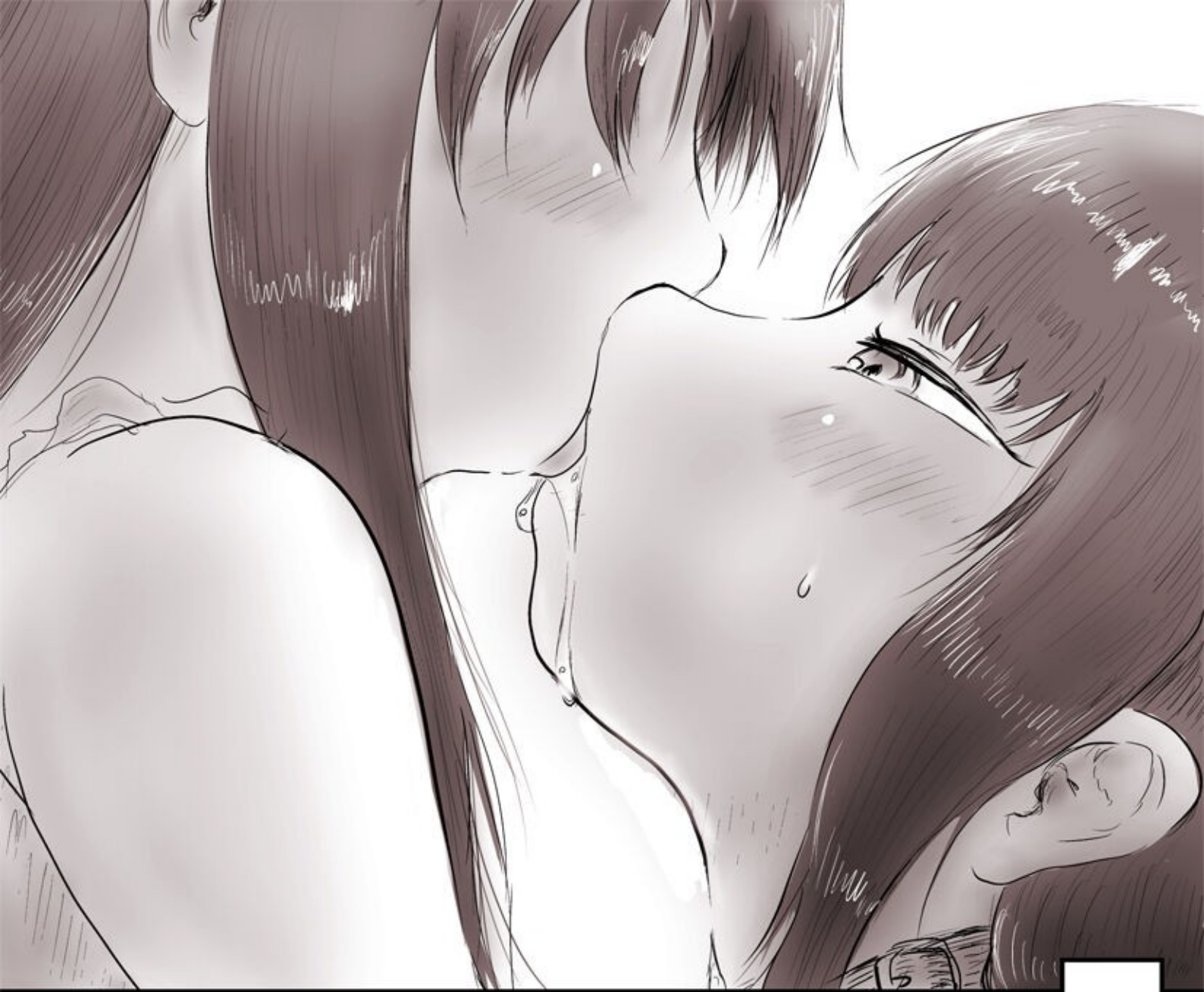
もー
沙織ったら
口答えしないの

忘れたの？
沙織はいま：

私の
デザート

なんだから





あ：



私がデザート
ってそういう...



飲まれてる
私の口の中の

でもお姉ちゃん
汚いよ：駄目だよ
こんな事



ねえお姉ちゃん
もうとっくに
シモンディー
無くなってるの？

：いいか
私はいま
お姉ちゃんの
コップなんだから

次のメニューは
打って変わって
直球って感じ

でも

何で
目隠しかなんか

メニュー②
～クリームプリン～

見えない
視界

少し怖い
：：けど

お腹のクリーム
から始まって

一番おいしい所は
最後に取っておく
つもりなんだ

える..

お姉ちゃんの
やりたい事は
分かってる

感じるのは
お姉ちゃんの舌の
感触と熱い吐息だけ

分かてるなら
少しは大丈夫
：：かも

うう..
とうとう先っぽ
だけになっちゃった

お姉ちゃん
相当ゆっくり
舐めるんだもん

さっきから
凄くもどかしく
って..

ごめん
沙織

お姉ちゃん
もうお腹一杯に
なっちゃった

げふ、ー

ええー？
ええー？

名残惜しいけど
また今度に
しよう

お母さんも
帰ってきそうだし

え..そんな
..え？

確かに
カレー沢山
食べてたけど..

でも..
そっかー

もしかして
私：残念がってる？

いやっ
そんなことない

絶対に
期待してたの
なん..

とろ..

あー



ぢゅー

だっ…♡

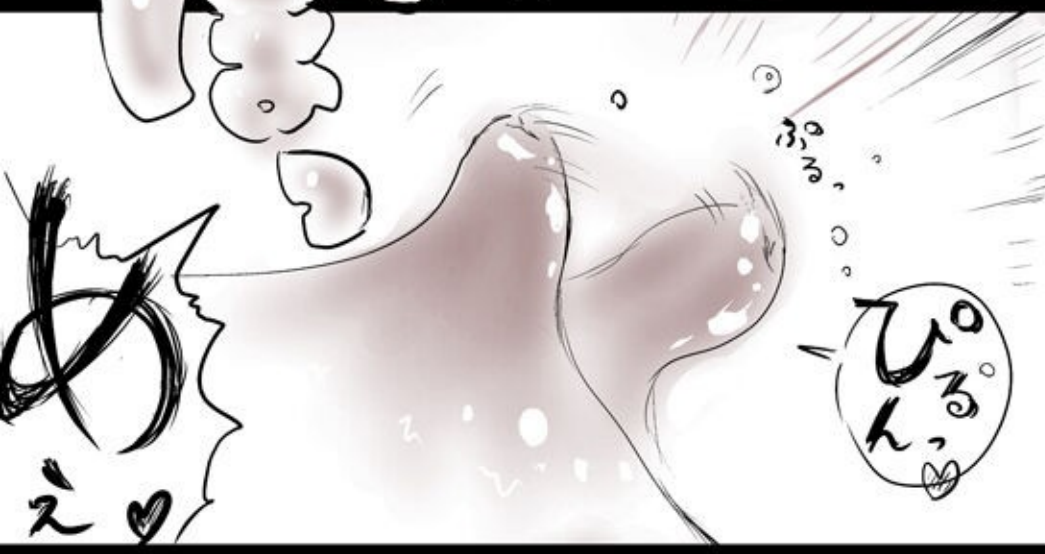


やっダメ！
今そんなに優しく
コロコロされたらあ♡



てっ
わっ
えっ

じゅる
るる
♡



ひるんっ♡

めえ♡



えっ？

あっ？
やっ…



無限の胃袋
なの!?

おおお姉ちゃん？
やっばり嘘だった
のね！

はー♡
はー♡

私が沙織で
お腹一杯になるわけ
ないじゃない♡

そうだよー

ちゅっ♡

ちゅっ♡

はむ
お姉ちゃん！？
お腹いっぱいなの
…はあ♡

はむ

あーあ

クリーム
なくなったね

だから
ほら

ね

あ：
終わったの？

お替わり

え？

終わって
…ない

お姉ちゃんの食欲は
まったく衰えず

あの後 3回も
お替わりをした

ただひたすらに
丹念に、丁寧に

乳首がピキピキと
音を立てそうな
くらい舐められた

ピキ

ピキ

ピキ

ピキ

ピキ

お姉ちゃん
と
デザートタイム

388





怖いの：
お姉ちゃん

私達姉妹
なのに

これ以上は
わたし：戻れなく
なっちゃうよ？



…ちよつと
待って…あ

どうして？
沙織のココ
もう限界みたいだけど



ねえ沙織
次が最後だけど

どこを食べられちゃうか
分かってるでしょう



でも

もし怖いだけのなら
私が怖くなくなる
言葉を教えたげる



私も本気で
嫌がる沙織を
責めたりしない



沙織：
嫌なら逃けても
いいんだよ

もう手の拘束は
外してある



うっ

わ



ええっ？
そそそんな事
言えるわけ！

言わなきゃ
やめちゃうよー



びく
びく



残さず
綺麗に食べて♡

わわ：
私のえっちな
おま：おま

お姉ちゃん♡

：んこ
フルーツを：

うん

うん

わ

あ

ん

あ

あ





ああもう
お姉ちゃん♡

大好きい♡♡♡



わたし

幸せえ…♡



こんなに
幸せそうに

私のお股を
夢中で
ペロペロしてる

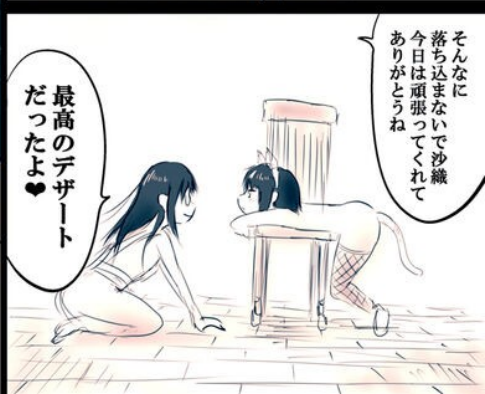
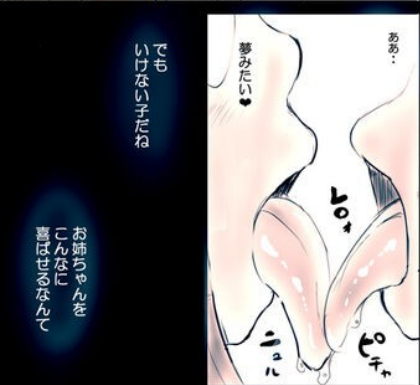
お姉ちゃんの
顔が

可愛すぎて
どうか
しちやいそう♡



こんなの
見てたら

わたしっ!





おめ
覚悟して参練

まひか...

ご褒美を
あげる

待って!
まださっきのキスで
あそびが...

とっておきの

まっ...

ポッポ

コッ

ピクッ

おっ♡

ピクッ

ピクッ

ピクッ

ほおおお

おっ♡

おっ♡

おっ♡

あはっ：
わたし

ほ

わたしの体と
心全部：

も

あ

あ

あ

あ

お姉ちゃんのものに
なっちゃった：♥

ビョアアア

ねえ
お姉ちゃん

私はお姉ちゃん
のものだけと

お姉ちゃんは
私のもの？

もしそうで
ないのなら

いつか
お姉ちゃんを
私のものに
してやるんだ





はー
はー

お姉ちゃん

やるなら早く
入れてよ

プッ











んしょ

んしょ

んしょ

んしょ

んしょ

んしょ

